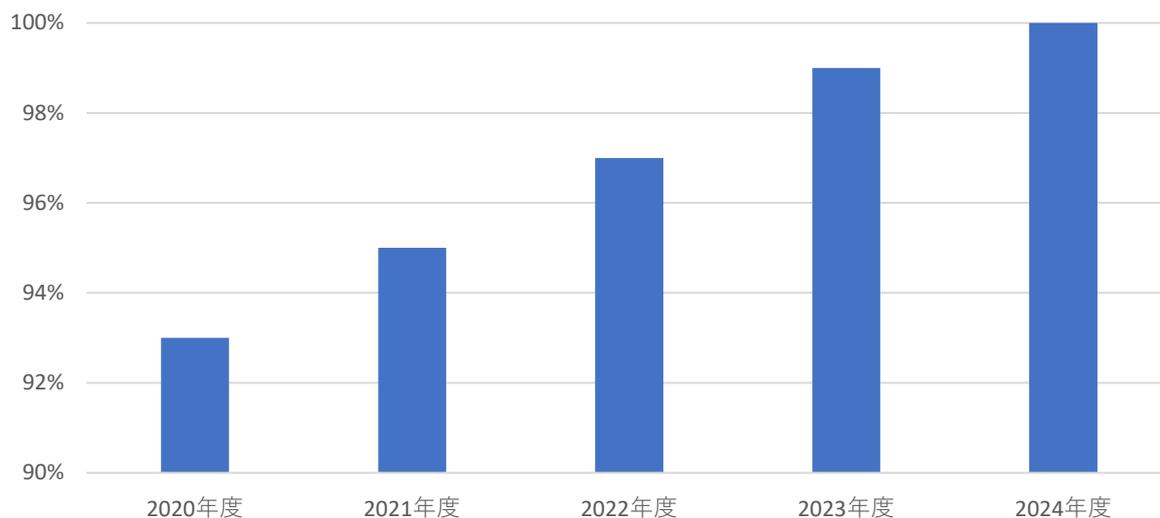


## 65歳以上の入院早期栄養アセスメント実施割合



年 度	65歳以上入院患者数	栄養アセスメント実施数	割合 (%)
2020年度	946	884	93
2021年度	1,008	954	95
2022年度	1,042	1,013	97
2023年度	1,037	1,027	99
2024年度	966	966	100

### 【評価】

栄養管理は全ての治療の基盤であり、疾病の治癒や予後に大きく影響を及ぼす。特に高齢者の栄養管理は入院中の治療やリハビリテーション訓練だけでなく、退院後の生活にも影響を与える。当院では、通常入院患者全てに入院初日に栄養スクリーニング（MUST）、低栄養診断であるGLIM基準を実施し、3日以内に多職種（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士）による栄養計画書を作成する。例外として、胃瘻交換や腹水濾過濃縮再静注法（CART）等の短期入院の患者の栄養評価は行っていない。当院は65歳以上の高齢者の患者が多く、早期栄養介入を多職種で行うことで、治療の促進に努めている。過去5年間の65歳以上の栄養アセスメント実施の割合は90%以上であり、例外を除いた患者全てにおいて実施されている。2024年度は、胃瘻交換やCART等の例外件数が無く過去最高の100%であった。

### 【今後】

現状65歳以上の高齢患者の栄養管理は、早期栄養アセスメントを実施することで良好に実現されていると思われる。今後も多職種によるサポート体制を維持継続して、高齢患者の良好な栄養管理を目指す。